



# 朝一小だより

活気があふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和5年8月29日

児童数 584名



## ナンバー1をめざして

校長 金子 二郎

処暑を迎えて一週間足らずが経ちましたが、秋の訪れは当分先になるようです。暑さは峠を越したようですが寝苦しい夜も続いております。この夏は感染症対策が大幅に変更されたこともあり各地の行楽地は賑わいを取り戻し、朝霞市でも彩夏祭が開催されました。久しぶりの夏を満喫された方も少なくないかと存じます。一方、熱中症の被害や水不足の懸念だけでなく、各地では大雨や時ならぬ台風の深刻な被害が報告されました。保護者や地域の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしでしょうか。



夏休み明け、久しぶりに子供たちの姿を見ると、僅かな間にたくましく成長していることに驚かされます。日焼けしたり身長が伸びたりしただけでなく、顔つきも頼もしくなったのではと嬉しくなります。限られた期間の中で様々な経験を通して身体も心も成長していることがうかがえます。たとえ短時間であってもきっかけとなる体験があれば子供たちは見違えるほど成長します。1学期終業式では「若いからこそ見えるもの、聞こえるものが年を取るとわからなくなってしまう。夏休みだからこそできることにチャレンジを。」と、充実した夏休みを過ごしてほしいと話をしましたが、素敵な夏休みを過ごすことができた子供が少なくないようです。体験を通して身に付けることができる力は計り知れません。岐阜県生まれの教育者である野村芳兵衛は「本当によく遊ぶ子供はよく学ぶ。今学ばなくてもやがてはきっとよく学ぶ。」と述べています。体験することと同じ位に、成長したところを生かしてどのような大人になろうかと自分自身で考えることが大切なのは言うまでもありません。文筆家の川村二郎氏は著書「社会人としての言葉の流儀」の中で次のように述べています。「人間は誰でも、オンリー1として生まれる。たとえ一卵性双生児でも、一人一人は、オンリー1である。しかし『ナンバー1にならなくていい』と思った時、オンリー1への道は閉ざされるだろう。生まれたままで特技を身に付けなければ、その他大勢の一人にしかたれない。オンリー1ではなくなるからである。iPS細胞の山中伸弥教授は手術が下手で、『お前は手術の邪魔になる。ジャマナカだ。』と言われ、臨床から病理に転じたそうである。病理のナンバー1を目指した結果、オンリー1になることが出来たのではなかろうか。」ナンバー1を目指すことでオンリー1になれるという川村氏の言葉は大変示唆に富んでいます。この2学期は期間が長いだけでなく、運動会のような学校行事や校外学習のような学年行事が目白押しです。一人一人の子供が様々な体験を通して自分の良さに気が付くとともに、夢をもって頑張り続ける力を身に付けてくれればと願っています。子供たちが頑張り続けることのできる環境を用意するためにも、引き続き保護者や地域の皆様にお力添えくださいますよう、改めてお願い申し上げます。



我々が見たいのは、知識を追い求める子供の姿であって、子供を追い回す知識ではない (バーナード・ショー)